

広報委員会（第25期第8回）  
議 事 概 要

1. 日 時 令和5年9月12日（火）10:30～12:00
2. 場 所 日本学術会議大会議室（オンライン併用）
3. 出席者

【広報委員会】

菱田委員長、狩野幹事、大倉委員、（以下ビデオ出席）松下副委員長、所幹事、池邊委員、磯委員、多久和委員、伊藤委員、隠岐委員、三成委員  
森 日本学術会議アドバイザー

4. 配布資料

資料1 前回議事要旨案

資料2 第25期における広報活動・情報基盤強化について

5. 議 事

(1) 前回（令和5年3月20日）議事要旨

(2) 資料1に基づき、菱田委員長より広報活動・情報基盤強化についての説明があった。広報アドバイザーを迎え広報機能強化した。

国民向けの動画の作成、パンフレット・リーフレットの作成、『学術の動向』の季刊化、論説委員等懇談会・記者懇談会の開催などの報道対応、ホームページの改修、SNSの活用、ホームページの改修、連絡会議の特設ページの作成、各種、情報機器やオンラインサービスの導入等情報基盤の強化など

(3) 所幹事より『学術の動向』についての報告では季刊化に伴う体制・機能の拡大について説明があった。

(4) 次期の課題について意見交換

(主な意見)

- ・『学術の動向』について、学術フォーラムやシンポジウムの速報版という意味があった。『学術の動向』でなくてもホームページなどでダイジェスト版のような文章での掲載も取り込める範囲内で取り組むことでより良くなる。
- ・今後はXだけでなく他のSNSアカウント取得等含めて検討するべきではないか。
- ・各国のアカデミー関連のホームページやPR戦略に関わっていて、学術会議も歴史などの沿革について触れた情報の発信を充実させていくほうがよいのではないかと感じた。
- ・ホームページに関して、これまでは会長・副会長室がトップの方にあり、顔写真が見やすかった。日本学術会議を親しみやすく感じてもらうためには、会長の顔がトップページにあった方がよいのではないか。
- ・学術フォーラムや公開シンポジウムなどについて、ホームページの活用などによりその内容を見られるようにすることは必要ではないか。
- ・『学術の動向』の高校生への配布について、スーパーサイエンスハイスクールが全国で約250ある。そこに1冊ずつでも良いので寄贈し、ホームページにも誘導して、教材として活用いただくことは非常に重要である。文部科学省とも連携もできるので、

次期検討をしていただきたい。